

経済・金融
フラッシュ

貿易統計 24 年 7 月－輸出の低迷が続く

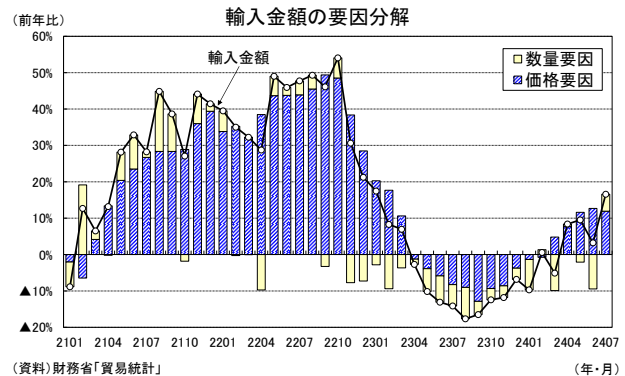
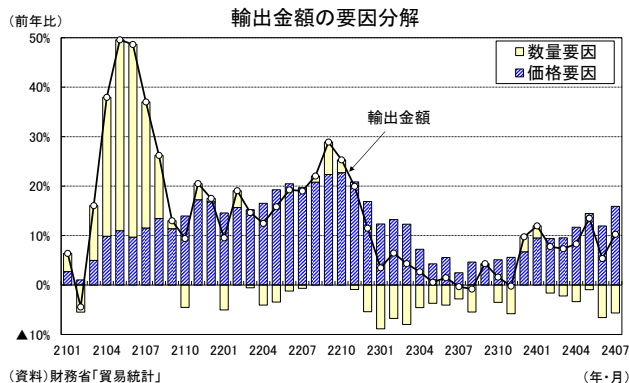
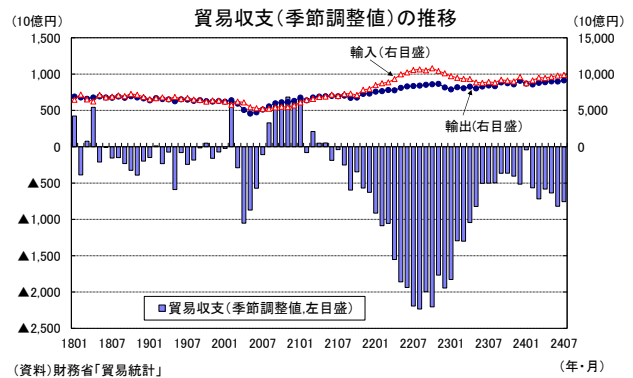
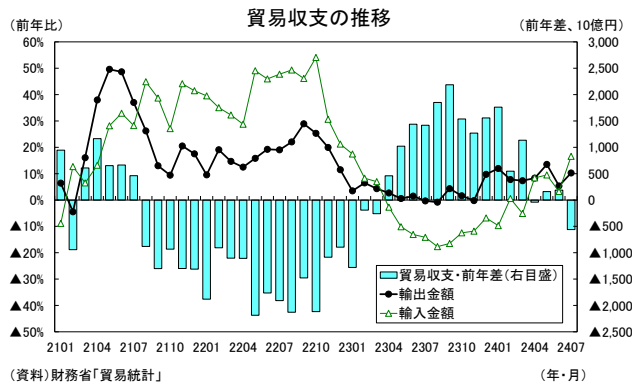
経済研究部 経済調査部長 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 輸出数量は前年比マイナスが続く

財務省が 8 月 21 日に公表した貿易統計によると、24 年 7 月の貿易収支は▲6,218 億円の赤字となり、事前の市場予想（QUICK 集計：▲3,583 億円、当社予想は▲5,671 億円）を下回る結果となった。輸出が前年比 10.3%（6 月：同 5.4%）、輸入が前年比 16.6%（6 月：同 3.2%）といずれも前月から伸びが高まったが、輸入の伸びが輸出の伸びを上回ったため、貿易収支は前年に比べ▲5,605 億円の悪化となった。

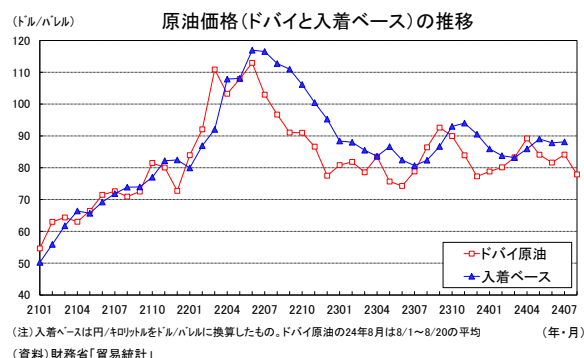
輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比▲5.2%（6 月：同▲6.2%）、輸出価格が前年比 16.3%（6 月：同 12.3%）、輸入の内訳は、輸入数量が前年比 4.4%（6 月：同▲8.9%）、輸入価格が前年比 11.6%（6 月：同 13.3%）であった。



季節調整済の貿易収支は▲7,552 億円と 38 ヶ月連続の赤字となったが、6 月の▲8,196 億円から

は赤字幅が若干縮小した。輸出が前月比 1.7%と 2 ヶ月ぶりに増加し、輸入の伸び（同 0.9%）を上回った。

24 年 7 月の通関（入着）ベースの原油価格は 1 バレル＝88.1（当研究所による試算値）と、6 月の 87.8 からほぼ横ばいとなった。足もとの原油価格（ドバイ）は 70 ドル台後半まで下落しており、指標価格に上乗せされる調整金、船賃、保険料などを含めた通関ベースの原油価格は、24 年 8 月に 80 ドル台後半となった後、9 月には 80 ドル台前半まで低下することが見込まれる。



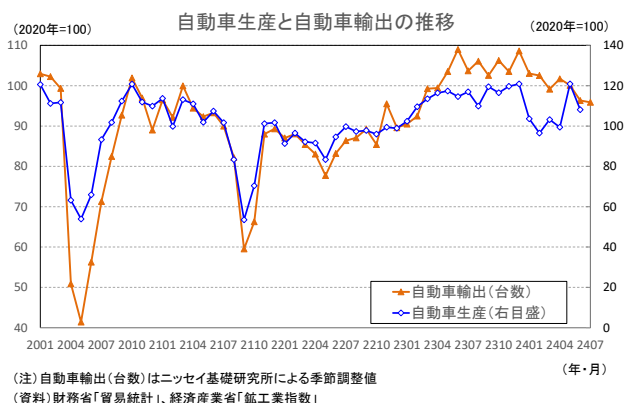
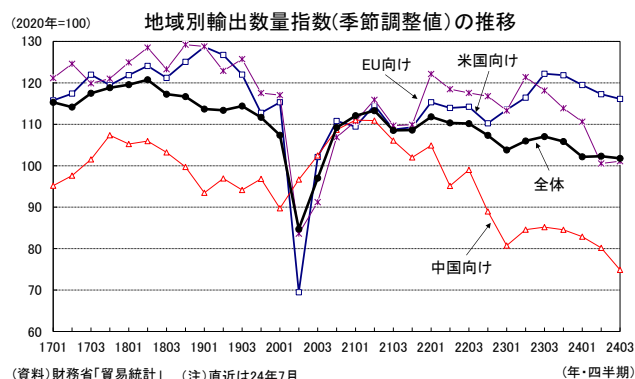
2. 自動車輸出は低迷継続

24 年 7 月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比▲5.0%（6 月：同▲2.9%）、EU 向けが前年比▲13.8%（6 月：同▲20.1%）、アジア向けが前年比▲4.2%（6 月：同▲5.3%）、うち中国向けが前年比▲10.9%（6 月：同▲8.9%）となった。

24 年 7 月の地域別輸出数量指数を季節調整値（当研究所による試算値）でみると、米国向けが前月比▲0.8%（6 月：同▲1.0%）、EU 向けが前月比 2.4%（6 月：同▲0.7%）、アジア向けが前月比▲0.1%（6 月：同▲1.9%）、うち中国向けが前月比▲3.1%（6 月：同▲5.2%）、全体では前月比 0.3%（6 月：同▲0.4%）となった。

EU 向けは前月比でプラスとなったが、4-6 月期の急速な落ち込み（前期比▲9.1%）の反動によるもので、いずれの国・地域向けの輸出も低迷している。品目別には、グローバルな IT 関連財の調整進捗を受けて、半導体電子部品等の IT 関連輸出（実質ベース）は持ち直しているが、新たな認証不正問題の影響もあり、自動車輸出が低迷している。自動車輸出（対世界、台数ベース）は、前年比▲6.9%と 3 ヶ月連続の減少となった。6 月の同▲12.5%からは減少幅が縮小したが、季節調整値（当研究所による試算値）では、前月比▲0.5%（6 月：同▲3.8%）と 3 ヶ月連続で減少した。

海外経済の減速が続くなか、円高による下押圧力が加わることから、輸出は当面低調に推移する可能性が高い。



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。